

米国環境保護庁
ワシントン, D.C.20460

大気放射局

2018年5月3日

ENERGY STAR® コンピュータサーバ パートナー関係者各位

米国環境保護庁(EPA)は、このレターにより ENERGY STAR コンピュータサーバ基準バージョン 3.0 第 3 草案を発表する。EPA は基準バージョン 3.0 第 2 草案に対して多数の意見を受け取り、添付の基準内に意見を組み入れるために取り組んだ。本基準第 3 草案に対する意見の提供期限は 2018 年 6 月 4 日である。

以下は基準バージョン 3.0 第 3 草案に組み入れた主な内容である：

稼働状態効率基準： 第 3 草案において、EPA は新しい稼働状態効率基準を提案し、アイドル時の報告要件を保持している。複数の協議の後、関係者と EPA は稼働状態効率メトリックがアイドル時効率を適切に組み入れ動かしていることに同意した。これら基準は SERT V2.0.0 に基づき、市場の上位 4 分の 1 を目標に作られている。第 3 草案の提案を開発するために使用されたデータセットは [こちら \(別紙データセット\)](#) にある。EPA は 2014 年から 2017 年 11 月の間に導入されたシステムについて、本基準に別段の言及がない限り、データを検討した。

定義：関係者とのさらなる協議の後、第 3 草案において回復性サーバ定義は修正され簡単になった。この定義の単純化により基準から付属書類 B が削除された。EPA はまた高性能コンピュータシステムおよび製品群の一部の定義を修正した。

他の試験基準：関係者意見はバージョン 2.0 で検討された APA 技術よりも大幅に大きい処理能力を提供するためにより高いアイドル消費電力を必要とする複数の異なる APA 技術が開発されていることを示した。しかし、これら製品を同等の方法で試験することは実行可能ではない。試験方法が不足しているために、EPA はすべてのコンピュータサーバが試験において拡張 APA 搭載無しで試験を行うこと、および製造事業者が APA 詳細およびアイドル消費電力を適合の一部として報告することを提案する。

試験方法：アイドル基準水準の除去に加えて、試験方法を修正してマニュアルアイドル測定を除去した。提供されたデータをさらに審査した後、マニュアルアイドル測定値および SERT を介して取得されたアイドル測定値は数パーセント以内にあり、それは追加のマニュアル試験測定が必要ないことを示している。SERT アイドル結果は ENERGY STAR Product Finder (製品検索) にて報告される。

意見の提出

EPA は添付の基準バージョン 3.0 第 3 草案に対する関係者の意見を歓迎する。関係者は **2018 年 6 月 4 日までに** servers@energystar.gov 宛に意見を送付すること。寄せられた全ての意見は、提出者が非公開にすることを求めない限り ENERGY STAR 基準策定(product development)ウェブサイトに掲載される予定である。

関係者ウェビナーの開催

EPA は本基準バージョン 3.0 第 3 草案に対する質問に答えるため、**2018 年 5 月 17 日午後 1 時から午後 3 時** (米国東部標準時) にウェビナーを主催する。ウェビナーへの参加を希望する場合は、[こちら](#)で登録をすること。

EPA と産業およびその他関係者との間の考えおよび情報交換は ENERGY STAR 成功にとって重要である。基準および会議資料は e メールで配られ、ENERGY STAR ウェブサイトに掲載する予定である。EPA の基準改定に関する進捗を調べるには基準策定 (product development) ウェブサイト www.energystar.gov/revisedspecs の「Enterprise Servers」を参照のこと。

質問もしくは懸念に関しては、小職 Fogle.Ryan@epa.gov もしくは 202-343-9153 又は John Clinger John.Clinger@icf.com もしくは 215-967-9407 に連絡のこと。コンピュータサーバに関連するその他の質問は servers@energystar.gov に連絡のこと。ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

Sincerely,

Ryan Fogle

ENERGY STAR IT およびデータセンター製品、EPA マネジャー